取扱説明書

バイオデックス社製

ゲイトトレーニングシステム 2

Gait Training System 2

BDX-GTM2

＊このたびは、お買い上げいただき、まことに
ありがとうございます。
＊正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に
この「取扱説明書」をよくお読みください。
＊「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を
保ってください。
・1部を保存用として大切に保管してください。

SAKAImed

03-129②L1

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項を読んで必ずお守りください。
表示の意味は次のようになっています。

⚠ 危険 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠ 警告 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠ 注意 ･･･ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

⚠ 危 険

- 必ず本装置の管理者や指導者の監督のもとで、使用上の注意点などの説明を受けた上で使用してください。特に心肺機能の病気、高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満等の方は注意が必要です。
- 使用する前に必ず本装置に異常がないことを確認してから使用してください。
- 機器から異音、異臭がしたら直ちに電源を切り、取扱説明書記載の営業所にご連絡ください。
- 停電時は直ちに使用を中止し、治療者は速やかに降りてください。
- 利用者が機器に乗っているときや使用中に電源を切らないでください。
- 機器に水を掛けないでください。また、小さな金属物を機器の上に置かないでください。
- 電源ケーブルの上に重いものを置いたり、機器の下敷きにならないようにしてください。また、無理にねじ曲げたり、加工したりしないでください。

⚠ 警 告

- ご使用の際は規定の電源電圧で使用してください。（AC100V、50／60Hz）
- トレーニングを行う際は必ず非常停止ロープを利用者の衣類に取り付けてください。このとき、トレーニングの邪魔にならない位置に取り付けてください。
- トレーニングを行う際は必ずウォーミングアップを行ってください。
- トレーニング中にめまい、動機、気分が悪くなるなどの症状が現れた場合は、直ちにトレーニングを中止し速度を落としてください。
- 長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグをンセントから抜いてください。

⚠ 注 意

- 接続コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 利用者は必ず遅い速度からトレーニングを始めてください。指示者が速度の変更を行う場合は必ず利用者に知らせてから行ってください。
- 逆回転で使用する場合は一度停止させ、利用者の向きを変えてから動かしてください。
- トレーニングの開始と終了時は手すりを使用してください。

すべての商標は各権利保有者の所有によるものです。
本書の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。
製品仕様について一部仕様変更になっていますので記載されている内容と実機が異なる部分があります。

目次

1. ご使用になる前に 5

1-1 設置場所についての注意 5
1-2 電源についての注意 5
1-3 設置，移動した場合の注意 5
1-4 警告・注意シール 6

2. ゲイトトレーニングシステム2の接続 7

2-1 プリンターの接続 7
2-2 非常停止ロープの接続 7
2-3 電源の接続 7

3. ゲイトトレーニングモード 8

3-1 利用者情報画面 8
3-2 バイオフィードバック設定画面 9
3-3 フットフォール／ヒストグラム画面 10
3-4 トレーニング結果画面 12
3-5 標準データ 15

4. トレッドミルモード 16

4-1 クイックモード 16
4-2 マニュアルモード 18
4-3 プログラムモード 20

5. ユーティリティ 22

5-1 動作環境設定 22
5-2 利用者管理 24
5-2-1 保存データの印刷 25
5-2-2 保存データの削除 25

6. メンテナンス 26

6-1 日常のメンテナンス 26
6-2 3ヶ月ごとのメンテナンス 26
6-3 使用1000時間ごとのメンテナンス 26
6-3-1 スライダーデッキの反転 26
6-3-2 トレッドベルトの交換 26
6-3-3 スリップコート（デッキの潤滑） 27
6-4 ベルトの調整 27

7. 始業点検 28

8. 保証とアフターサービス 29

9. 仕様 30

1. ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.28 の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。また、これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。
破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

1-1 設置場所についての注意

- 本装置を爆発性・可燃性の恐れのある場所では使用しないでください。
- 本装置を水まわりなどの感電の恐れのある場所では使用しないでください。
- 屋外やほこりの多いところ、直射日光のあたるところでは使用しないでください。
- 本装置の周辺には、障害物を置かないでください。
- 本装置は平らで安定した床面に設置してください。斜めの面に設置すると使用中に移動したり、転倒したりする恐れがあり事故やけがの原因になり危険です。
- 本装置を2台以上並べて設置する場合は、乗り降りや補助の邪魔にならない十分な間隔を空けてください。

1-2 電源についての注意

- 電源は規定(単相 100V　50/60Hz　15A)のものを使用してください。
- 電源コードを引っ張ったり、コードが重量物の下敷きにならないように注意してください。
- 電源コードやプラグなどが破損している場合には使用を中止し、弊社営業所までご連絡ください。

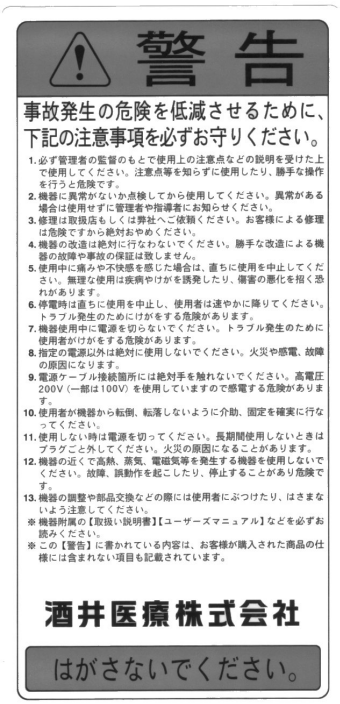
⚠警告　必ず付属の電源コードを使用し、アースを確実に接続してください。

1-3 設置，移動した場合の注意

初めて設置した場合や設置場所を移動させた場合はご使用前にゼロバランスを調整してください。
ゼロ点がずれていると正しい測定ができない場合があります。手順は「5-1 動作環境設定」を参照してください。

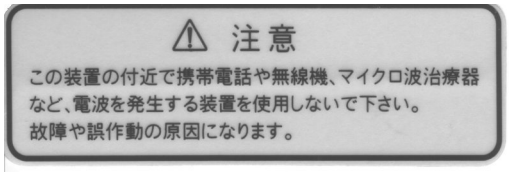
1-4 警告・注意シール

1. 警告シール



使用上の警告シールです。
けがや器械の故障を防ぐ注意事項が記載されています。

2. 注意シール



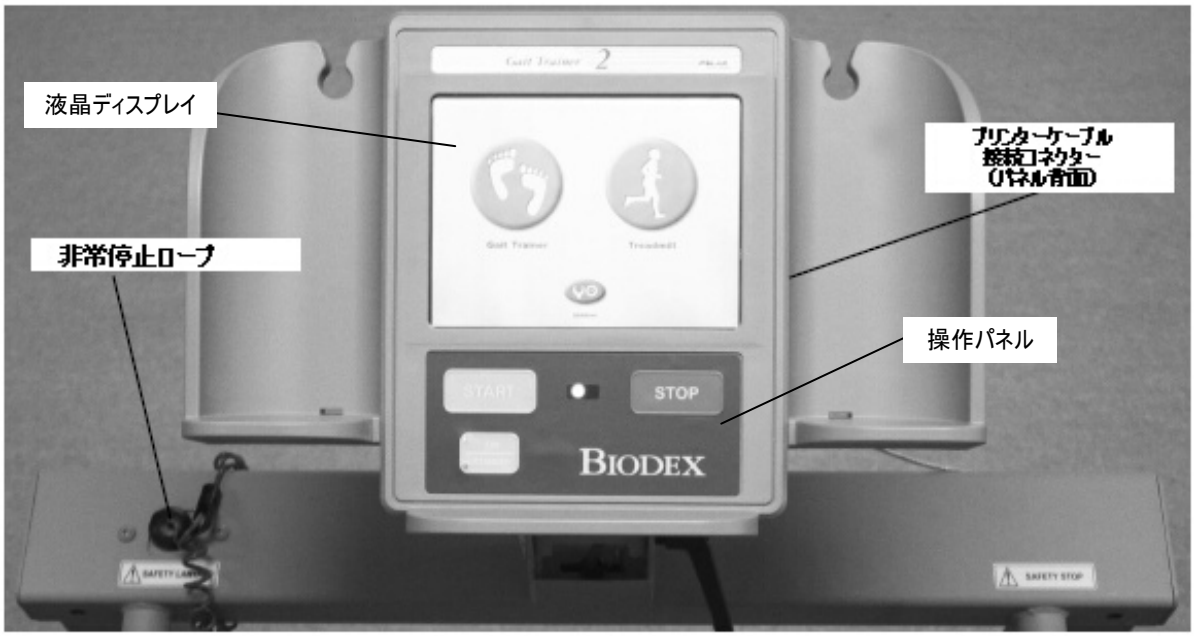
使用上の注意シールです。
けがや器械の故障を防ぐ注意事項が記載されています。

3. ロック確認シール

調節機能のプルボタンなどの確認シールです。
きちんとロックされていないとけがをする場合があります。

2. ゲイトトレーニングシステム2の接続

使用する前にプリンター、プリンタースタンド、非常停止ロープが付属されていることを確認してください。



2-1 プリンターの接続

①パネル背面のケーブルコネクターにUSBケーブルを接続し、反対側をプリンター本体に接続します。
②プリンターの電源ケーブルを本体のコンセントに接続します。
（本体裏側下部 メイン電源の左側に電源コンセントはあります）
この時、プリンターケーブル、電源ケーブルが走行ベルトに触れることのないように接続してください。
③プリンター本体をプリンタースタンドの上に置きます。
プリンタースタンドは動作の妨げや、利用者がケーブルを引っ掛けない位置に置いてください。

2-2 非常停止ロープの接続

ゲイトトレーニングシステム2は非常停止ロープが接続されていないと動きません。
①非常停止ロープは前面フレーム左側にあるベルクロ（写真参照）に取り付けます。
②もう一方の端を動作の妨げにならないように利用者の服に取り付けてください。

2-3 電源の接続

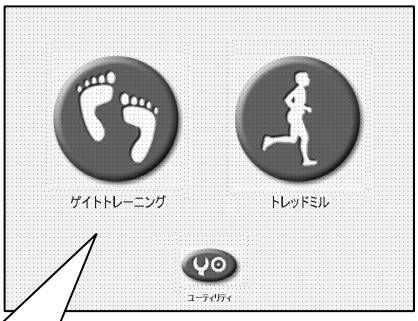
①電源コードを壁側コンセントに接続します。
②本体前面の電源スイッチを ON 側にします。
③操作パネルの ON／STANDBY ボタンを押すと ON ランプが点灯し、開始画面を表示します。

開始画面

3. ゲイトトレーニングモード

利用者の身長と年齢を画面から入力するだけで標準的な歩幅とステップサイクルが自動設定できます。

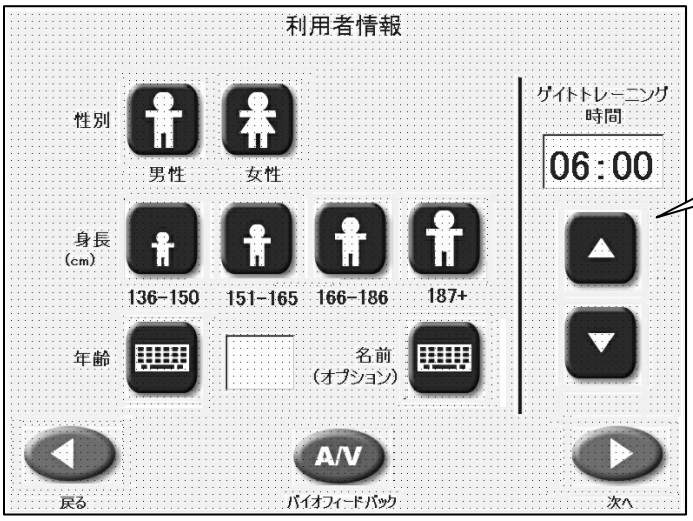
ステップサイクルは利用者の歩幅とベルトスピード（歩くスピード）を決定するために重要です。
0.1 単位で 0.1～5.0 サイクル／秒の変更ができます。



開始画面

ゲイトトレーニングモード
を選択します

3-1 利用者情報画面



利用者情報を入力します
終了したら、**A/V** ボタン

必須入力項目

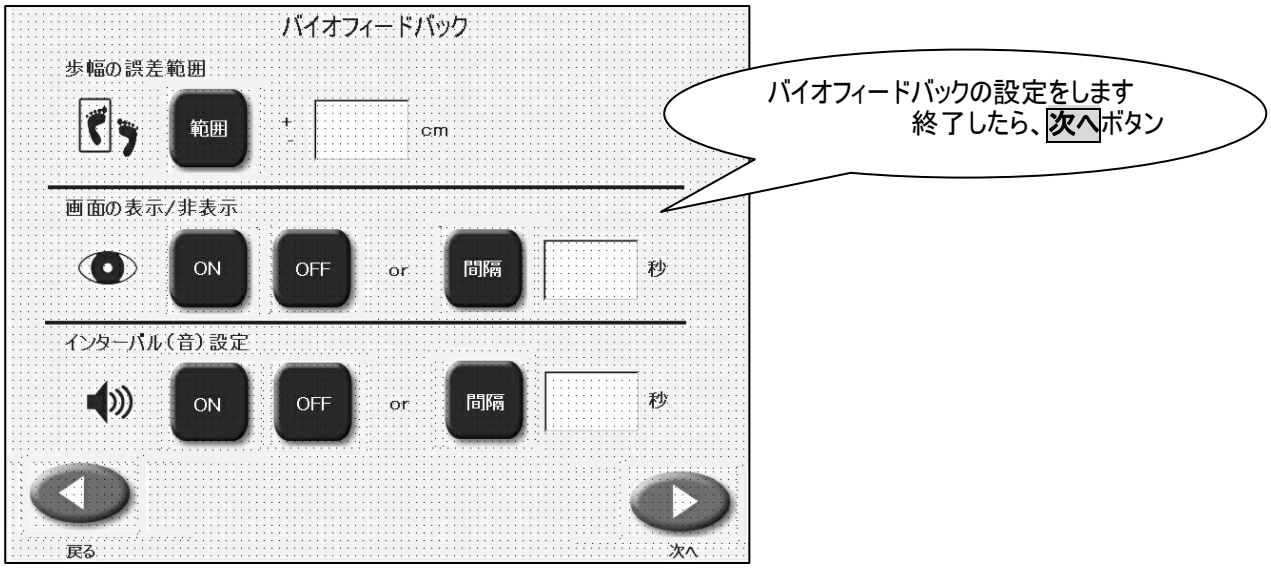
- 性 別
- 身 長
- 年 齢

3項目とも入力されていないと**次へ**ボタンを押すことができません。

性別	男性・女性のいずれかを選択します。
身長	該当する範囲を選択します。
年齢	アイコンを押します。 年齢入力用のキーパッド画面に切り替わりますので数字ボタンを押して年齢を入力してください。（10～80歳まで入力可能）
名前	アイコンを押します。 名前入力用のキーパッド画面に切り替わりますのでキーパッドを押して名前を入力してください。
トレーニング時間	初期値：6：00分 ▲ ▼ボタンでトレーニング時間を変更します。

次へ	トレーニング画面（フットフォール画面かヒストグラム画面）になります。
戻る	開始画面に戻ります。
バイオフィードバック	バイオフィードバック設定画面になります。 トレーニング中の設定を変更することができます。

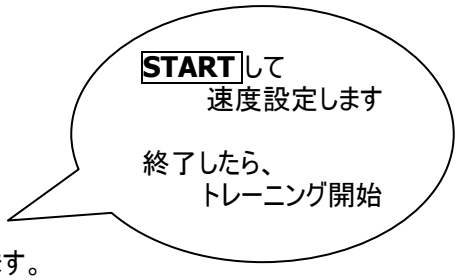
3-2 バイオフィードバック設定画面



歩幅の許容範囲	歩幅の許容範囲を入力します。(初期値:±10 ㎝) **範囲**ボタンを押すとキーパッド画面に切り替わりますので 数字ボタンを押して許容範囲を入力してください。 歩幅±許容範囲が正常な歩幅として認識されます。
画面の表示／非表示	フットパターン時のグラフィック表示/非表示を選択します。 自動切り替えをする場合は、**間隔**ボタンを押して ON/OFF の切り替え時間を入力します。
トレーニング音の切替え	トレーニング時のテンポ音の ON/OFF を選択します。 自動切り替えをする場合は、**間隔**ボタンを押して ON/OFF の切り替え時間を入力します。

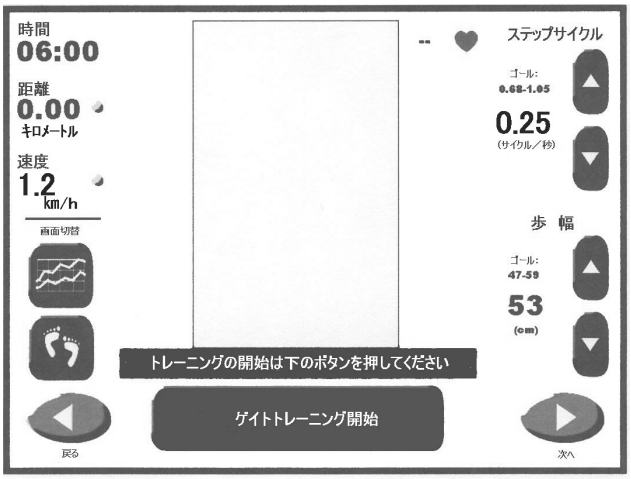
次へ	トレーニング画面(フットフォール画面かヒストグラム画面)になります。 変更した設定が有効になります。
戻る	利用者情報画面に戻ります。

3-3 フットフォール／ヒストグラム画面



フットフォール画面とヒストグラム画面は、画面左下のそれぞれのアイコンを押すごとに、いつでも切り替えることができます。

①操作パネルの **START** ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。
②ステップサイクル、歩幅を調節してベルト速度を設定します。
③**ゲイトトレーニング開始**と表示されたボタンを押してトレーニング開始します。
④左右の足がそれぞれの目標の枠内になるようにトレーニングします。
⑤トレーニング終了は**終了**ボタンを押します。ゆっくりと速度が落ちて停止します。



フットフォール画面

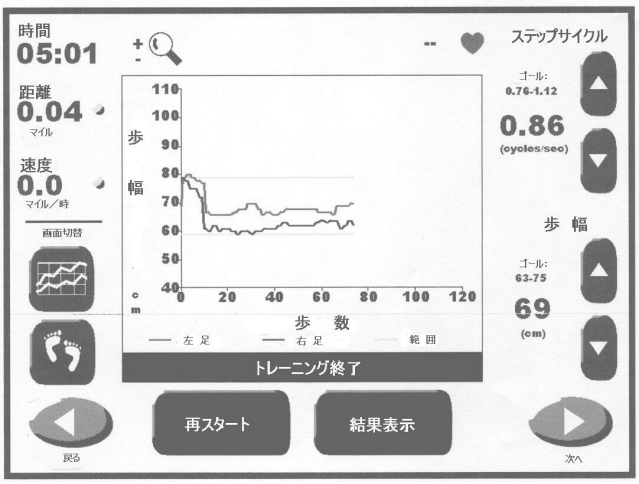
左右の足型と目標の枠が表示されます。
利用者が足をついたときに目標に対してのずれ具合を表示します。利用者の歩行が目標範囲の場合には着地した側の足が目標の枠の中に表示され、ディスプレイ下部に**「正常範囲」**と表示されます。

目標に対して小さい場合：枠の後方に足型が表示され、**「歩幅を大きく」**のメッセージ

目標に対して大きい場合：枠の前方に足型が表示され、**「歩幅を小さく」**のメッセージが表示されます。

ご注意

トレーニングを行う場合、ディスプレイに表示される情報は実際の動作に対して、常に一歩前の情報が表示されます。



ヒストグラム画面

X 軸が歩行距離、Y 軸が歩幅の線グラフで表示します。左足が赤線、右足が青線で、グラフ上に表示されている 2 本の黄色線内が目標範囲となります。拡大鏡アイコンを押すとグラフ部分を拡大表示できます。
健常者の場合、目標との誤差は歩幅 約 3 cmです。

ステップサイクル（サイクル/秒） 1 秒間に連続何回かかとがベルトに着地するかに基づいて、ベルト速度を決定します。	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1（サイクル/秒）、0.1～5.0（サイクル/秒）の範囲で設定できます。 0.1：非常に遅い ， 1：一般的な歩行スピード ， 3：速い ゴールで表示されている値は、身長と年齢から割り出した平均値です。
歩幅（cm） 脚長(cm)×0.69～0.86 の範囲で利用者に合った目標枠を設定します。	▲ ▼ボタンで変更します。 ゴールで表示されている値は、身長と年齢から割り出した平均値です。
距離	トレーニング中の歩行距離を表示します。 距離の横の〇ボタンを押すことで単位をマイル、メートル、キロメートルに切り替えることができます。 ・目標距離を長くする場合 ： ベルト速度、歩幅の値を上げる ・目標距離を短くする場合 ： ベルト速度、歩幅の値を下げる
速度	トレーニング中のベルト速度を表示します。 速度の横の〇ボタンを押すことで単位を KMH、MPH、M/SEC に切り替えることができます。 ・ベルト速度を上げる場合 ： ステップサイクル、歩幅の値を上げる ・ベルト速度を下げる場合 ： ステップサイクル、歩幅の値を下げる
ハートレート	トレーニング中の心拍を表示します。 フロントハンドレールのハンドグリップセンサーを両手で握ってください。
フットフォール／ヒストグラム	それぞれのボタンを押すと押したボタンの表示形式に切り替わります。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。
再開	一時停止後、ボタンを押すとゆっくり動き出します。 ステップサイクルの▲で速度設定し、**トレーニング再開**と表示されたボタンを押してトレーニング再開します。

⚠ 注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで **ON／STANDBY** ボタンを押したり、電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

ご注意

最低速度は0．34m/Sec（約0．9km/h）です。これより遅い速度の場合は**「データを収集する場合は 速度を上げてください」**メッセージが表示され、ディスプレイの各機能が動作しません。ディスプレイ機能を使用する場合には速度を上げてください。

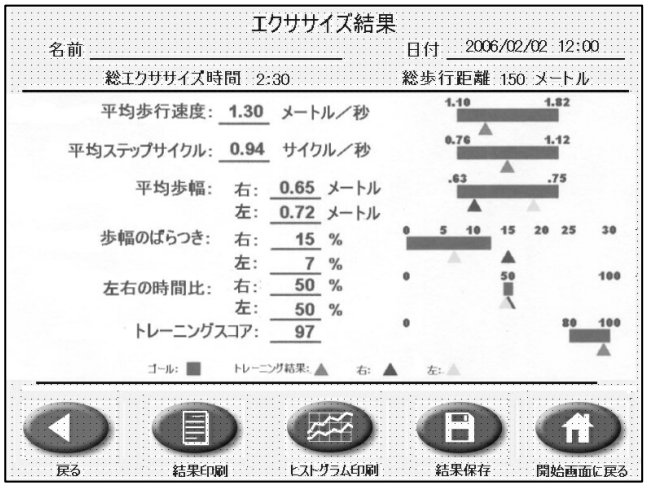
ご注意

最初、表示されるまで時間がかかることがあります。また、ハンドグリップセンサーは利用者によっては心拍が出にくい場合があります。その場合は、水などで少し手を湿らしてから握ると心拍が比較的とりやすくなります。

3-4 トレーニング結果画面

エクササイズ結果画面
を表示します

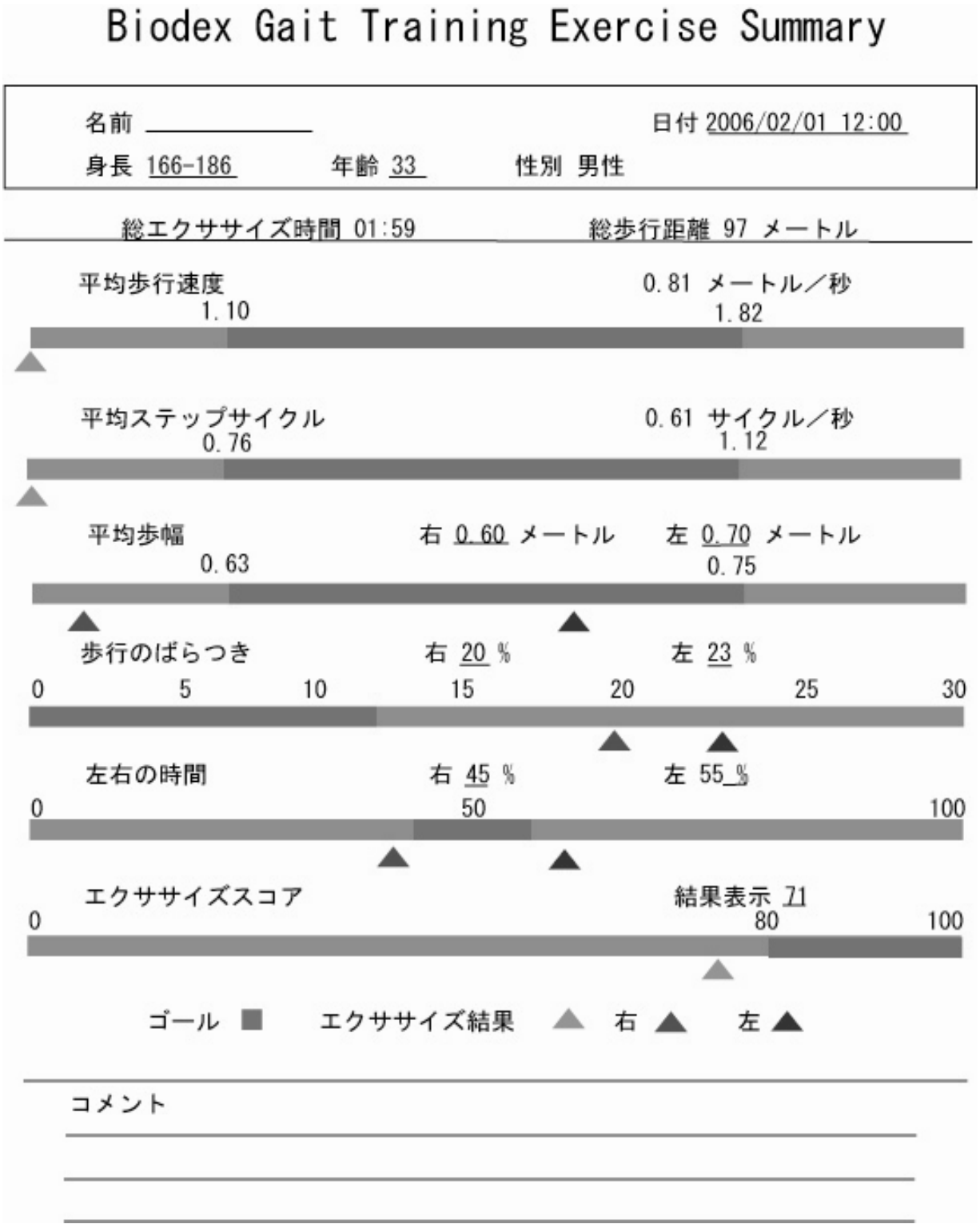
①トレーニング終了後、**終了**ボタンを押します。
②ベルト停止後、**結果**ボタンを押してください。



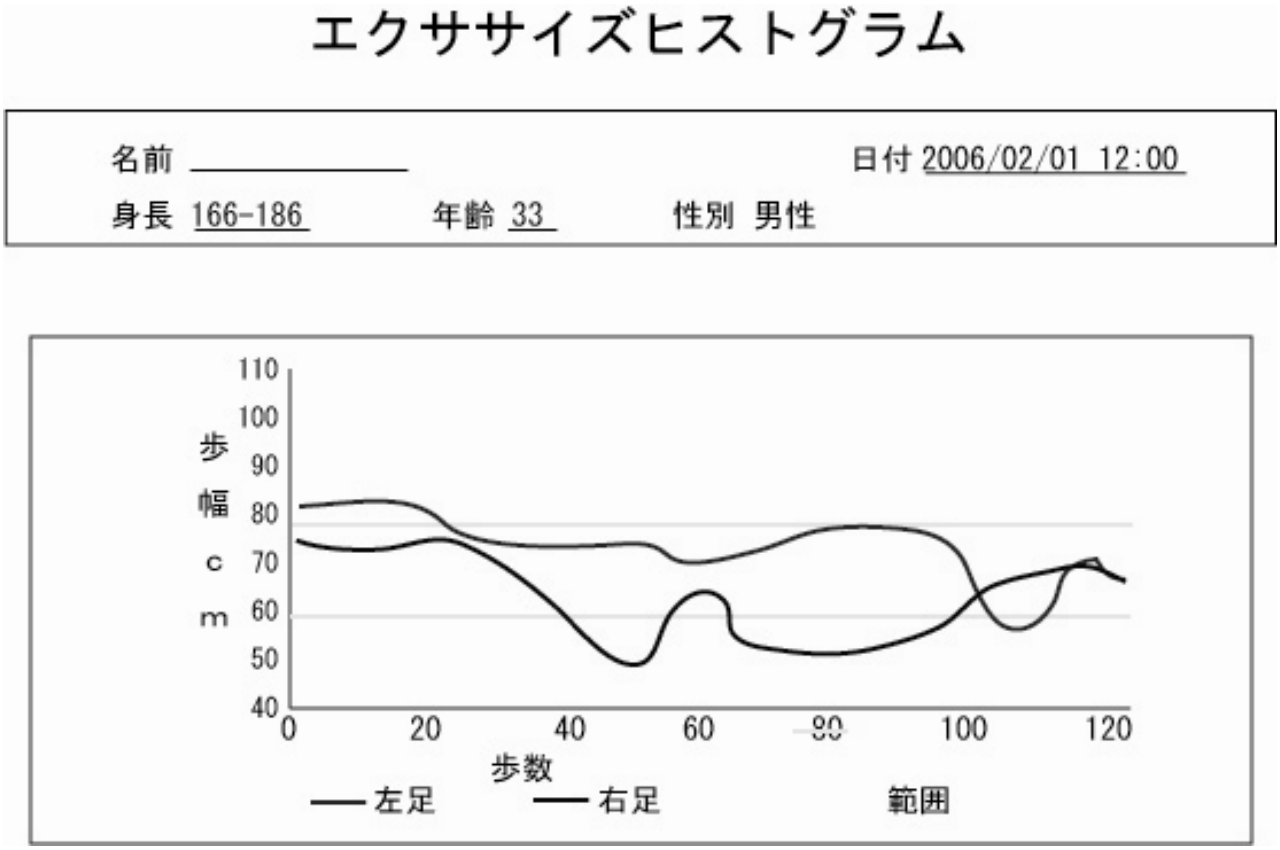
エクササイズ結果画面

総エクササイズ時間	トレーニングが開始されてからトレーニングが終了または**終了**ボタンを押される間での経過時間を表示します。
総歩行距離	利用者がトレーニング中に歩行した距離を表します。
平均歩行速度	トレーニング中の平均速度です。 バーグラフ上の値は年齢と性別を基に計算した標準値になります。
平均ステップサイクル	トレーニング中の平均ステップサイクルです。ヒールストライク（歩行時のかかとの接地時の衝撃）を基に計算されたものです。
平均歩幅	[（歩幅×0.69） + （歩幅×0.86）] /2 で計算された値。 歩幅は身長から計算した平均値を使用します。
平均歩幅　右／左	トレーニング中のすべての歩幅を左右別に計算した平均値。
歩幅のばらつき　右／左	トレーニング中の左右の足別に計算された歩幅のばらつき。
左右の時間　右／左	トレーニング中の全ステップの左右の時間的割合。
エクササイズスコア	トレーニング中の歩幅のばらつき、時間のばらつき、ステップサイクルなどから計算されたトレーニングスコア。

戻る	フットフォール画面またはヒストグラム画面に戻ります。 戻る場合に **OK** ボタンを押すと現在の測定データは消去されます。 **キャンセル**ボタンを押すと**戻る**コマンドはキャンセルされます。
結果印刷	トレーニング結果を印刷します。
ヒストグラム印刷	ヒストグラムデータを印刷します。
再トレーニング	ボタンを押すと再度トレーニングを開始します。 現在のトレーニング結果は破棄されます。


Biodex Gait Training Exercise Summary
名前
日付 2006/02/01 12:00
身長 166-186
年齢 33
性別 男性
総エクササイズ時間 01:59
総歩行距離 97 メートル
平均歩行速度
1.10
0.81 メートル／秒
1.82
平均ステップサイクル
0.76
0.61 サイクル／秒
1.12
平均歩幅
0.63
右 0.60 メートル
左 0.70 メートル
0.75
歩行のばらつき
右 20 %
左 23 %
0
5
10
15
20
25
30
左右の時間
右 45 %
左 55 %
0
50
100
エクササイズスコア
結果表示 71
0
80
100
ゴール
エクササイズ結果
右
左
コメント

トレーニング結果印刷



＊最大 1 ページにグラフが 3 つまで印刷されます。

ヒストグラム印刷

3-5 標準データ

女性

年齢	リズム（Steps／min）	サイクルタイム（s）	ストライド（m）	スピード（m／s）
13-14	103-150	0.80-1.17	0.99-1.55	0.90-1.62
15-17	100-144	0.83-1.20	1.03-1.57	0.92-1.64
18-49	98-138	0.87-1.22	1.06-1.58	0.94-1.66
50-64	97-137	0.88-1.24	1.04-1.56	0.91-1.63
65-80	96-136	0.88-1.25	0.94-1.46	0.80-1.52

男性

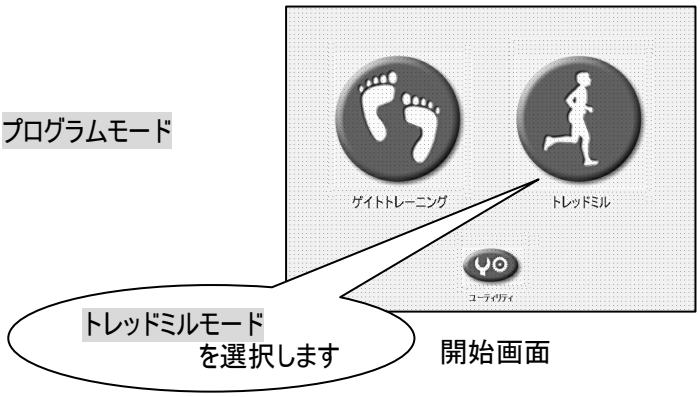
年齢	リズム（Steps／min）	サイクルタイム（s）	ストライド（m）	スピード（m／s）
13-14	100-149	0.81-1.20	1.06-1.64	0.95-1.67
15-17	96-142	0.85-1.25	1.15-1.75	1.03-1.75
18-49	91-135	0.89-1.32	1.25-1.85	1.10-1.82
50-64	82-126	0.95-1.46	1.22-1.82	0.96-1.68
65-80	81-125	0.96-1.48	1.11-1.71	0.81-1.61

上記の標準データは
“Gait Analysis, An Introduction , 2nd Edition ,Michale W. Whittle, 1997, pgs.218-219”
を基に作成されています。

表中のサイクルタイムについてはゲイトトレーニングシステム2ではステップサイクルと表記し、サイクル／秒を使用しています。またストライドについては2歩の長さを表示しています。ゲイトトレーナー2ではステップレングスと表記し、1歩の長さを入力しますので半分の値になります。

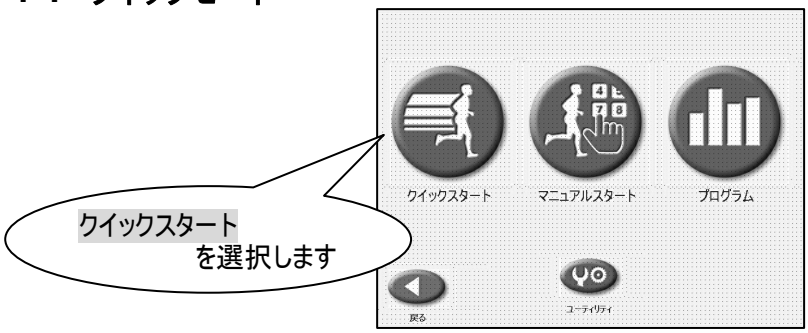
4. トレッドミルモード

トレッドミルモードには、クイックモード・マニュアルモード・プログラムモード
があります。

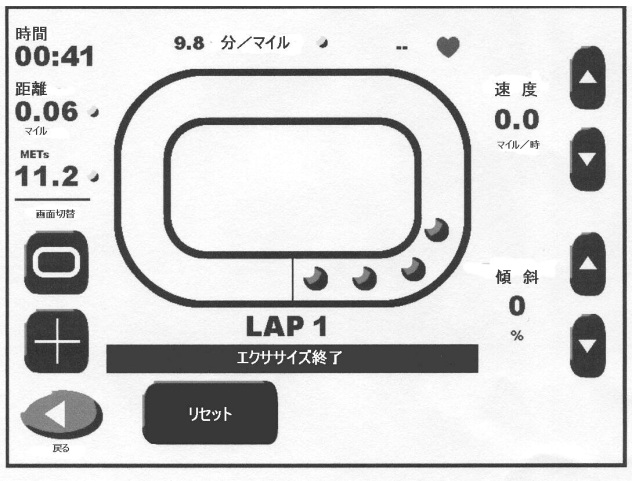


開始画面

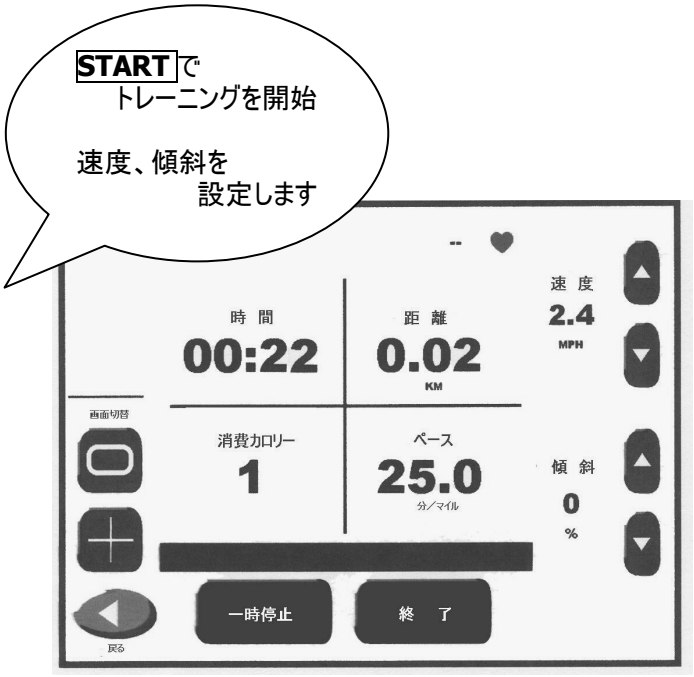
4-1 クイックモード



トレッドミルメニュー画面



トラック画面



数値画面

トラック画面と数値画面は、画面左下のそれぞれのアイコンを押すごとに、いつでも切り替えることができます。

①操作パネルの **START** ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。
②ベルト速度と傾斜を設定します。
③トレーニング終了は **終了** ボタンを押します。ゆっくりと速度が落ちて停止します。

速度	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1km/h、 正転時 12.8 km/h、逆転時 4.8 km/h まで 0.1 km/h 単位で設定できます。
傾斜	▲ ▼ボタンで変更します。0～15%の範囲で設定できます。
時間	トレーニング経過時間が表示されます。
距離	トレーニング開始からの走行距離が表示されます。 単位はマイルとキロメートルを切り替えることができます。
消費カロリー	単位はｶﾛﾘｰ，ｶﾛﾘｰ/時，METs を切り替えることができます。 ｶﾛﾘｰ　トレーニング開始から消費されたカロリー ｶﾛﾘｰ/時　現在の負荷でトレーニングを１時間行った場合の消費カロリー METs　運動強度 デフォルト体重は 60kg で計算されています。
ペース	現在の速度で1マイルまたは1km 進むのにかかる時間を表示しています。
心拍数	トレーニング中の心拍を表示します。 フロントハンドレールのハンドグリップセンサーを両手で握ってください。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。
再開	一時停止後、ボタンを押すとゆっくり動き出します。
再スタート	ボタンを押すと開始画面に戻ります。

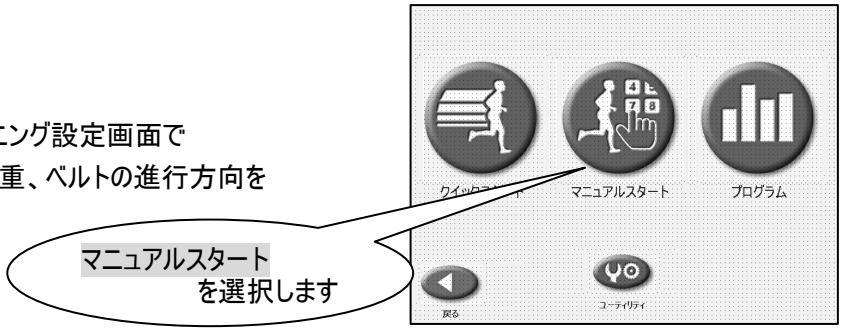
注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで **ON／STANDBY** ボタンを押したり、電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

参考

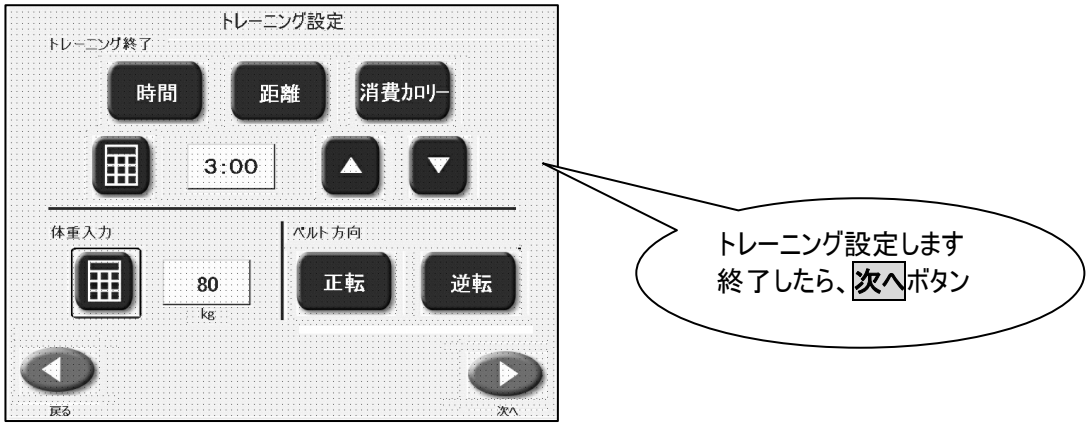
ペースで表示される時間はマイルの場合を基準にしているので、キロメートル表示の場合には若干の誤差がある場合があります。

4-2 マニュアルモード

マニュアルモードでは、トレーニング設定画面で
トレーニングの終了条件、体重、ベルトの進行方向を
設定することができます。

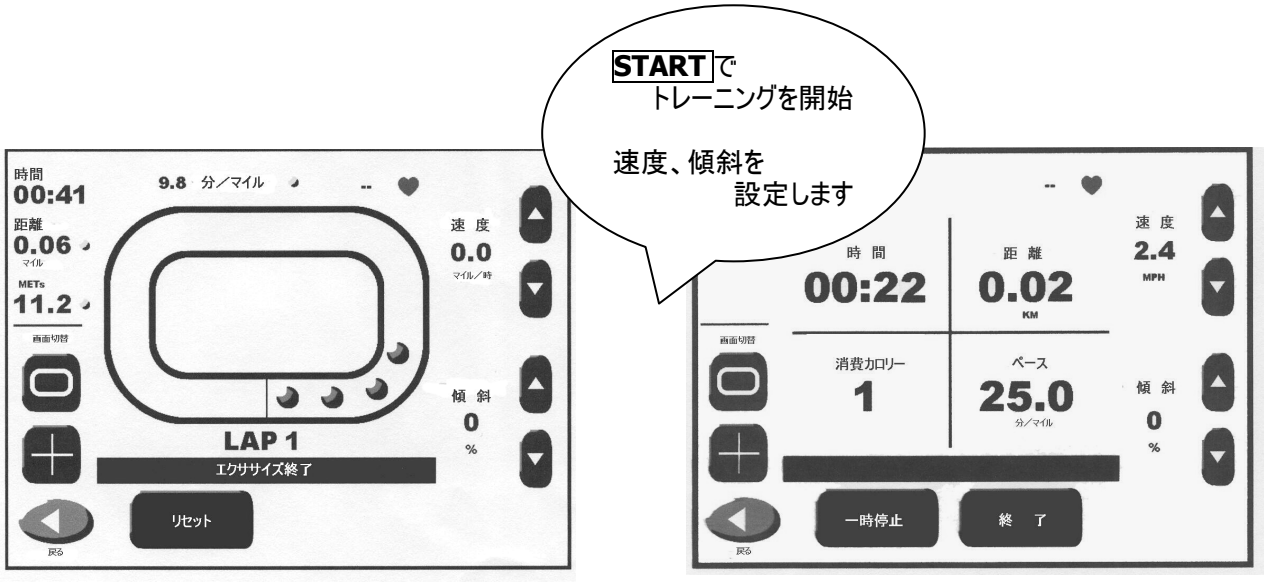


トレッドミルメニュー画面



トレーニング設定画面

トレーニング終了条件	**時間**、**距離**、**消費カロリー**のいずれかを選択します。初期値は**時間** ▲ ▼ボタンで数値を設定 または 画面上のキーパッドで数値を入力します。
体重	画面上のキーパッドで数値を入力します。
ベルト方向	**正転**または**逆転**のいずれかを選択します。初期値は**正転**



トラック画面　　数値画面

トラック画面と数値画面は、画面左下のそれぞれのアイコンを押すごとに、いつでも切り替えることができます。

①操作パネルの **START** ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。
②ベルト速度と傾斜を設定します。
③トレーニング終了は**終了**ボタンを押します。ゆっくりと速度が落ちて停止します。

速度	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1km/h、 正転時 12.8 km/h、逆転時 4.8 km/h まで 0.1 km/h 単位で設定できます。
傾斜	▲ ▼ボタンで変更します。0～15%の範囲で設定できます。
時間	トレーニング経過時間が表示されます。
距離	トレーニング開始からの走行距離が表示されます。 単位はマイルとキロメートルを切り替えることができます。
消費カロリー	単位はｶﾛﾘｰ，ｶﾛﾘｰ/時，METs を切り替えることができます。 ｶﾛﾘｰ　トレーニング開始から消費されたカロリー ｶﾛﾘｰ/時　現在の負荷でトレーニングを１時間行った場合の消費カロリー METs　運動強度 デフォルト体重は 60kg で計算されています。
ペース	現在の速度で1マイルまたは1km 進むのにかかる時間を表示しています。
ベルト方向	**逆転**のときのみ表示されます。
心拍数	トレーニング中の心拍を表示します。 フロントハンドレールのハンドグリップセンサーを両手で握ってください。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。
再開	一時停止後、ボタンを押すとゆっくり動き出します。
再スタート	ボタンを押すと開始画面に戻ります。

⚠ 注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで **ON／STANDBY** ボタンを押したり、電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

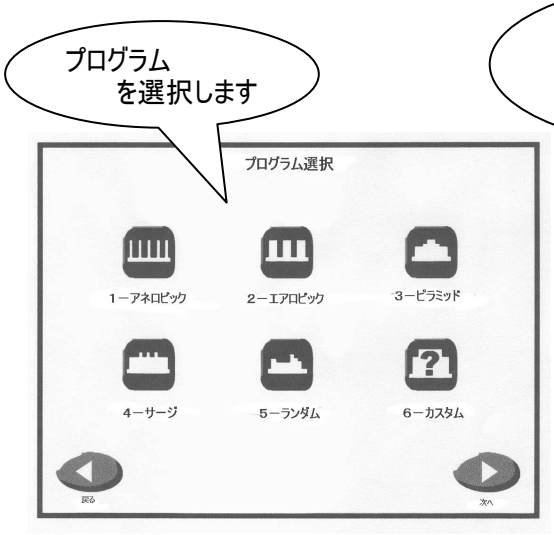
参考

ペースで表示される時間はマイルの場合を基準にしているので、キロメートル表示の場合には若干の誤差がある場合があります。

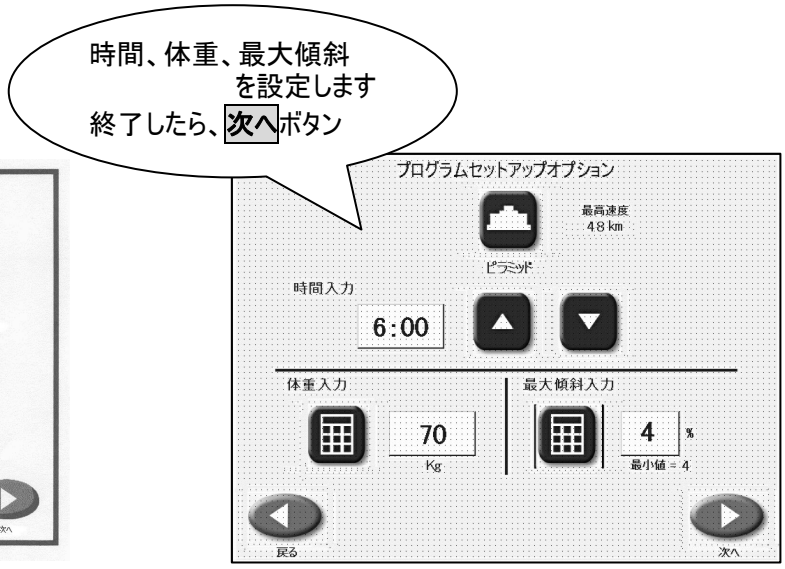
4-3 プログラムモード

プログラムモードはあらかじめ設定された 5 種類のプログラムと 12 個のカスタムプログラムを作成することができます。
5 種類のプログラムはアネロビック・エアロビック・ピラミッド・サージ・ランダムで、傾斜は自動的に変動し、速度は利用者が自由に設定することができます。
カスタムプログラムは速度、傾斜を自動的に変動させる設定ができます。
いずれのプログラムも動作中に速度と傾斜を変更できます。

トレッドミルメニュー画面

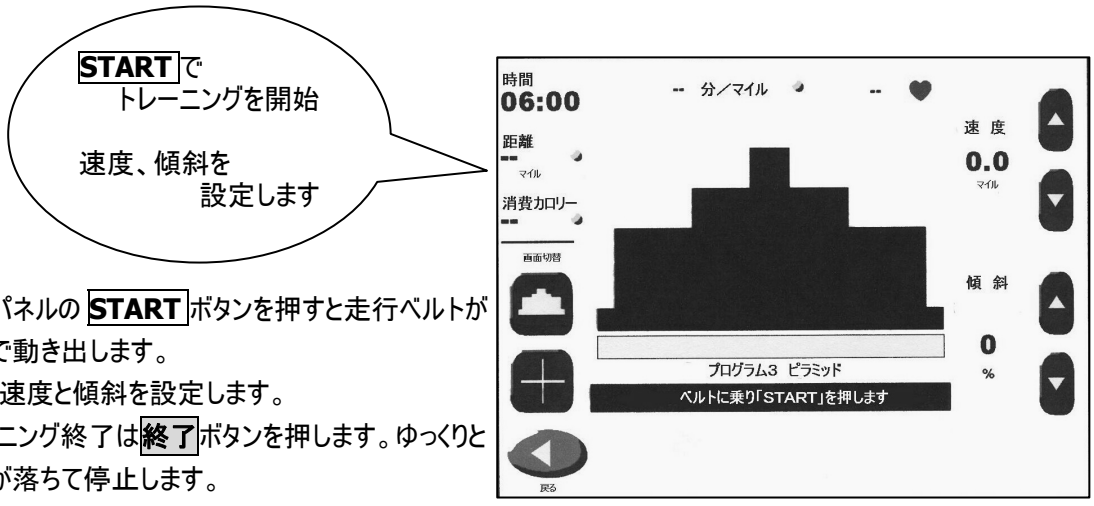


プログラム選択画面



プログラム設定画面

トレーニング時間	▲ ▼ボタンで数値を設定します。
体重	画面上のキーパッドで数値を入力します。
最大傾斜%	画面上のキーパッドで数値を入力します。



プログラムトレーニング画面

①操作パネルの **START** ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。
②ベルト速度と傾斜を設定します。
③トレーニング終了は **終了** ボタンを押します。ゆっくりと速度が落ちて停止します。

速度	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1km/h、 正転時 12.8 km/h、逆転時 4.8 km/h まで 0.1 km/h 単位で設定できます。
傾斜	▲ ▼ボタンで変更します。0～15%の範囲で設定できます。
時間	トレーニング経過時間が表示されます。
距離	トレーニング開始からの走行距離が表示されます。 単位はマイルとキロメートルを切り替えることができます。
消費カロリー	単位はカロリー, カロリー/時, METs を切り替えることができます。 カロリー　トレーニング開始から消費されたカロリー カロリー/時　現在の負荷でトレーニングを１時間行った場合の消費カロリー METs　運動強度 デフォルト体重は 60kg で計算されています。
心拍数	トレーニング中の心拍を表示します。 フロントハンドレールのハンドグリップセンサーを両手で握ってください。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。
再開	一時停止後、ボタンを押すとゆっくり動き出します。
リセット	ボタンを押すと開始画面に戻ります。

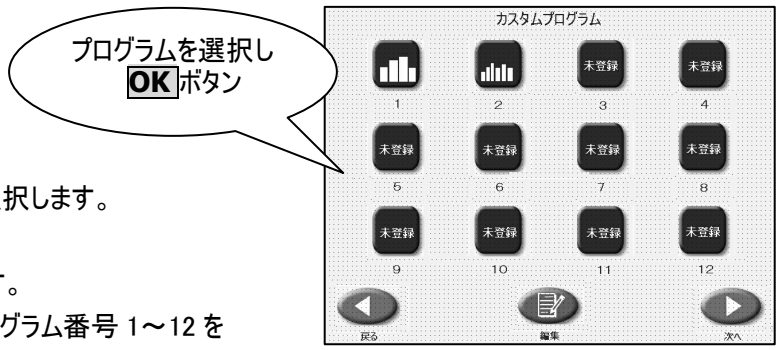
⚠ 注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで **ON／STANDBY** ボタンを押したり、電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

参考

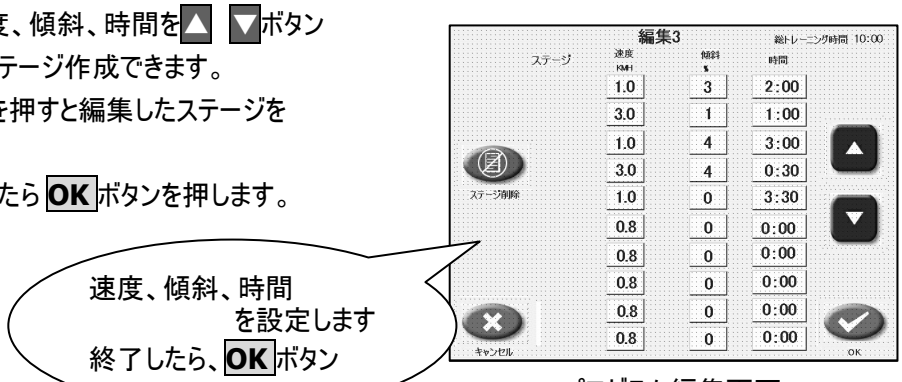
ペースで表示される時間はマイルの場合を基準にしているので、キロメートル表示の場合には若干の誤差がある場合があります。

＜カスタムプログラムの設定＞

①プログラム選択画面で **6-カスタム** を選択します。
②**編集** を選択します。
③編集用パスワード **781** を入力します。
④カスタムプログラム画面で編集するプログラム番号 1～12 を選択し **OK** ボタンを押します。
⑤プログラム編集画面で速度、傾斜、時間を▲ ▼ボタンで設定します。最大 10 ステージ作成できます。
また、**ステージ削除** ボタンを押すと編集したステージを削除できます。
⑥プログラムの編集が終了したら **OK** ボタンを押します。



カスタムプログラム画面



プログラム編集画面

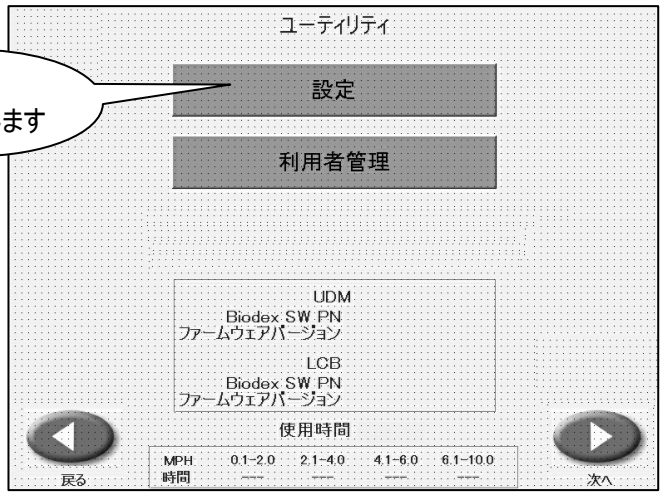
5. ユーティリティ

ユーティリティメニュー画面へは開始画面の**ユーティリティ**ボタンを押すことで切り替えることができます。
ユーティリティメニュー画面より動作環境設定、利用者管理ができます。
同時にこの画面にはファームウェアのバージョンと、使用時間の情報が表示されます。

ユーティリティを選択します

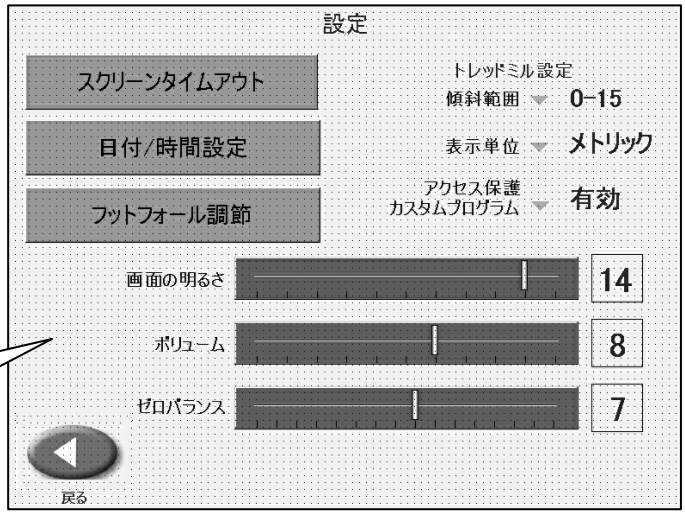
開始画面

5-1 動作環境設定



ユーティリティメニュー画面

①ユーティリティ画面で**設定**を選択します。
②ID入力画面に切り替わったら **781** と入力し、**OK** ボタンを押します。
③動作環境設定画面が表示されます。
④設定変更後は**戻る**ボタンを押すと設定が変更され、ユーティリティ画面に戻ります。
⑤再度、**戻る**ボタンを押すことでメインメニュー画面に戻ります。



設定を変更したら、**戻る**ボタン

動作環境設定画面

スクリーンタイムアウト	テストやトレーニング終了後の結果を表示しておく時間を設定します。初期設定は1:00分ですが0:00～30:00分の間で変更できます。▲ ▼ボタンで変更し、**OK**ボタンを押してください。
日付／時間	システム日付、時間を設定します。 変更する項目を押し、フィールドが選択されたら、▲ ▼ボタンで変更し、**OK**ボタンを押してください。
ディスプレイの明るさ	棒グラフを直接押して、明るさを調節してください。1～15の間で変更できます。数字が小さいほど暗く、大きいほど明るくなります。
音量	システム音量を調節します。0～10の間で変更できます。数字が小さいほど音が小さく、大きくなるほど音が大きくなります。
ゼロバランス	ベルトクリーピングの調整を行います。ベルトが停止する位置に調節してください。
傾斜範囲	傾斜幅を0～15%または－3～12%のいずれを使用するかを設定します。初期値は0～15%になっています。
表示単位	表示単位をポンドまたはキログラムのいずれかを使用するか設定します。初期値はキログラムになっています。
パスワード保護	初期値 **有効** は変更しないでください。

＜ゼロバランスについて＞

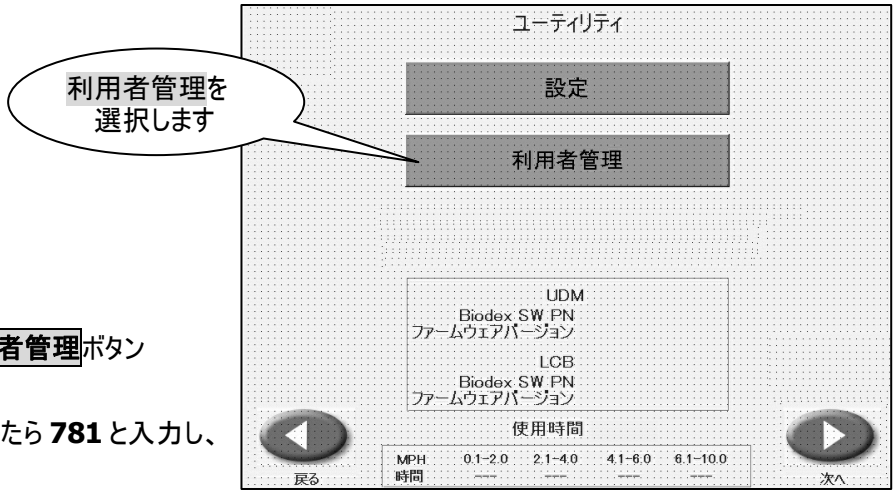
ゲイトトレーニングシステム2は直流モーターを使用しているため、構造上ゼロ点がずれてくることがあります。

スピードがゼロの状態でベルトの動きが大きい場合には数値を変更して調整してください。

調整してもベルトが完全に止まらない場合がありますが故障ではありませんので動きの一番小さくなるように変更してください。

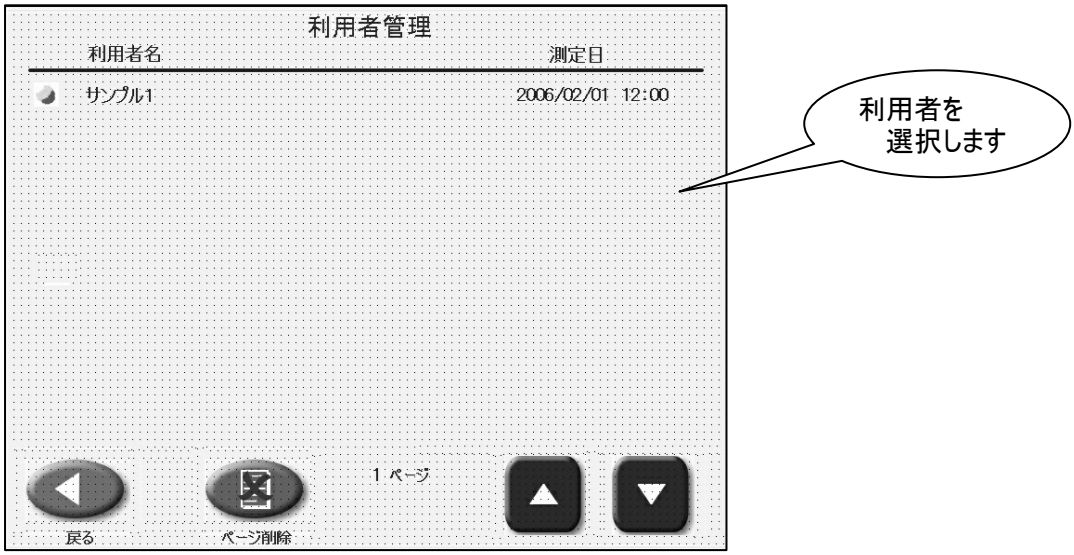
（0～15の範囲でも止まらない場合は、本体カバーを開けてボリューム調整作業が必要となりますので、弊社 最寄りの営業所にご連絡ください。）

5-2 利用者管理

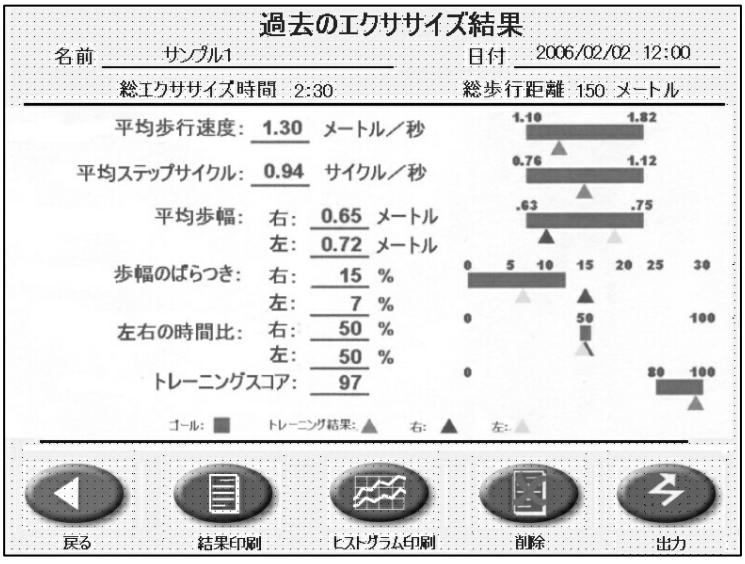


ユーティリティメニュー画面

①ユーティリティ画面で**利用者管理**ボタン
を押します。
②ID入力画面に切り替わったら **781** と入力し、
OK ボタンを押します。
③利用者管理画面が表示されます。
④利用者を選択すると、データ画面が表示されます。



利用者管理画面



データ画面

5-2-1 保存データの印刷

1. 印刷を行う保存データを選択します。画面が切り替わり、データの内容が表示されます。
2. **結果印刷**ボタンまたは**ヒトグラム印刷**ボタンを押してください。
3. 印刷後、利用者管理画面に戻ります。

5-2-2 保存データの削除

・ページごとの全件データ削除

(利用者管理画面に表示されている 1 画面分すべてのデータを削除することができます)

1. 利用者管理画面で削除したいページを選択します。
2. **ページ削除**ボタンを押します。
3. 確認メッセージが表示されますので、よければ**はい**を押してください。
4. 削除後、利用者管理画面に戻ります。

・1件ごとのデータ削除

1. 利用者管理画面から削除したいデータを選択します。
2. データ画面で**削除**ボタンを押します。
3. 確認メッセージが表示されますので、よければ**はい**を押してください。
4. 削除後、利用者管理画面に戻ります。

6. メンテナンス

ゲイトトレーニングシステム2を長く問題なく使用するためには、日常のメンテナンスは重要です。以下の表はメンテナンスの目安です。（使用状況、設置環境によって変化します）

説明	目安時間
デッキへの潤滑剤塗布	75
デッキの反転	1000
ベルトの取り替え	2000
モーター、アンプの清掃	750
前面ローラーの清掃	375

6-1 日常のメンテナンス

ゲイトトレーニングシステム2の外装をぬるま湯か薄めた洗剤できれいに拭いてください。この時の洗剤は家具用などを使用してください。

⚠注意　アンモニアを含んでいるものは使用しないでください。

液晶ディスプレイの汚れは柔らかい布でふき取ってください。

⚠注意　液晶部分をアルコールなどで拭かないでください。

6-2 3ヶ月ごとのメンテナンス

トレッドベルトとスライダーデッキへのスリップコートの塗布を行ってください。
定期的な使用がベルト、スライダーデッキ、モーター、モーターコントローラーへの負担を減らします。

6-3 使用1000時間ごとのメンテナンス

6-3-1 スライダーデッキの反転

ゲイトトレーニングシステムのスライダーデッキは両面使用することができます。使用時間が1000時間を超えたら反転するようにしてください。両面とも使用し終えたらスライダーデッキを交換してください。

6-3-2 トレッドベルトの交換

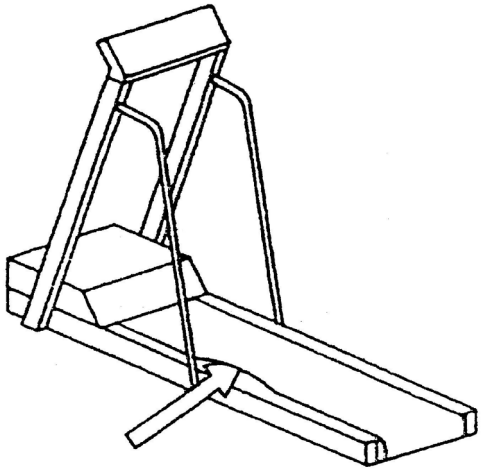
ベルトがひび割れてないか、裂けていないか確認してください。異常がなければそのまま使用しても構いません。異常がある場合はベルトを交換してください。

6-3-3 スリップコート（デッキの潤滑）

スリップコートがベルトとスライダーデッキの間の摩擦をへらします。適切なメンテナンスが極端な傷みを防ぎます。

1. 中央のベルトとデッキのあいだに約1／3量のスリップコートを塗ってください。
2. 1.0 マイルのスピードで 10 歩程度歩いてください。ベルトとデッキの間に広がります。
3. スリップコートを乾かすために約10分は使用しないでください。

⚠ 注意　専用のスリップコートを必ず使用してください。ほかのグリスなどはローラー類にたまり故障の原因になる恐れがあります。



ベルトとデッキの間にスリップコートを塗布してください。

6-4 ベルトの調整

ベルト調整機能は搭載していますが、時折ベルトのテンションのテスト、調整は必要になります。
ベルトスピードが一定にならない、踏み込んだときにベルトが止まってしまう、などの場合はベルトテンションの調整が必要になります。
テンションの調整は9／16インチの左右のボルトで行ってください。左右同じトルクで調整するようにしてください。
ベルトを締める場合は時計まわり、緩める場合は反時計まわりに回してください。
また、ベルトを停止させる力をくわえた場合（この時ベルトスピードは約 0.5mph）ドライブローラーのみが回転するように調整してください。このときドライブローラーも一緒に止まってしまう場合はテンションがきつすぎます。
ベルトが弾むなどする場合は、ベルトのサイドについている1／8インチのボルトを調整するようにしてください。

7. 始業点検

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外 観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ、安定していることを確認
	コードの状態	本体やキャスターにはさみ込まれていないこと、傷や破損がないことを確認
	各部品のはずれ、ガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視 または、スパナ等による確認
	ディスプレイの固定	レバーでしっかりと固定されていることを確認
	走行ベルト・フレームの損傷	傷・変形・破損・磨耗などないことを確認
	走行ベルトの張り	ベルトがたるんでないことを確認
	手すりの状態	がたつきがなく、しっかりと固定されていることを確認
	走行ベルト・手すりの汚れ	目視
機 能	電源の接続	確実に接続されていることを確認
	各ボタンの状態	ボタンの動作が正常であることを確認
	非常停止の状態	正常に作動することを確認
	傾斜の動き	動きがスムーズであることを確認
	ディスプレイ表示の状態	表示が正常であることの確認
	走行ベルトの状態	走行して回転にむらがなく、異常な音や匂いがないことを確認

8. 保証とアフターサービス

保証書と保証期間

保証書はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
保証期間につきましては、正常な状態でご使用いただきながら故障した場合１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
  機種名： *BDX－GTM2*
  お買い上げ年月日
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して分解しないでください。

耐用期間

10年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

スリップコート

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約 3 年**のもの

走行ベルト

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

9. 仕様

本体	2180(L) × 800(W) × 1520～1720(H) ㎜
走行面	1600 × 510 ㎜
プリンタースタンド	470 × 460 × 830 ㎜
標準ハンドレールの長さ	約850 ㎜
ハンドグリップの高さ	1000 ～ 1060 ㎜
モーター	DCモーター
速度	正転時 0 ～ 12.8 ㎞/h 逆転時 0 ～ 4.8 ㎞/h 0.1 ㎞/h単位で速度変更可能
傾斜	0 ～ 15%
心拍モニター	ハンドグリップセンサー
デッキ	厚さ 2.5cm、両面テフロン加工
電源	単相 100V 50/60Hz 15A アース付き専用線
電力	800/950W (50/60 Hz)
本体質量	140 ㎏
利用者体重	182 ㎏まで

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。